

EMボカシって何?

EMボカシとは、米ぬか、もみから、EM菌をまぜて、発酵させた、生ゴミを肥料に変える発酵資材です。

どうやって使うの?

～準備するもの～

密閉バケツ、EMボカシ、新鮮な生ゴミ
(目安: 300g入のEMボカシで、10Lバケツ 2杯分)

～使い方～

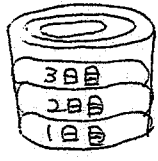
① 密閉バケツの底に、ボカシを敷き、生ゴミを入れて、また、ボカシをふりかけます。



EMボカシの分量は?
普通: 三角コーナー(家庭用)一杯分の生ゴミに対して、手のひらひとつみ程度。ただし、夏場や、腐りやすいものは、ボカシを多めに使って、必ずよくあて下さい。というよりは具合で、それぞれ、生ゴミの成分などで、量を調整して下さい。

- ① サランラップ、不織布、ビニール袋は分解できません。
- ② 空気を嫌うので、密閉して下さい。
- ③ 水気をよく切って入れて下さい。なるべく、新鮮なうちに処理して下さい。

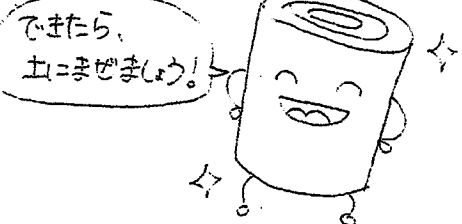
② 密閉バケツが、いっぱいになるまで、①を繰り返す。



- ① その日付した生ゴミは、前日分とはまぜずに、1日おき処理をして下さい。
- ② 直射日光の当たらないところで保管して下さい。
- ③ 生ゴミが発酵して、フタが、あいてしまいます。1日、1回、ガス抜きをして下さい!

③ バケツが、いっぱいになったら、更に夏なら 5~7日間、冬なら 10~14日間程、おいておきます。保存場所により、発酵日数が変わります。この日数も、ガス抜きは忘れずに!(虫がわく原因になります)

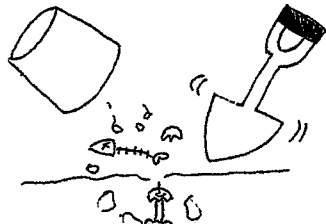
完成!!



④ 生ゴミのボカシあえの完成です!

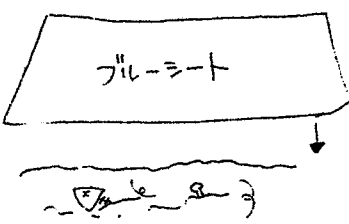
生ゴミのボカシあえを土にまぜよう!

① できた生ゴミあえを、土にまぜます。スコップで、よく混ぜて下さい。



生ゴミあえの目安は、1㎡に、25Lバケツ1つ分です。

② 土とよく混ぜたら、上から プレーシートなど、おおい、雨水の侵入を防ぎます。



- ① 生ゴミのにおいに、小動物が、寄ってくるので、シートはしっかりと、かぶせて下さい。
- ② おもりなどをして、風でシートが、飛ばないように工夫して下さい。

③ しばらくすると、白いカビが生えてきます。白いカビは、生ゴミを分解している証拠です。白いカビが生えてきたら、スコップで土をかきまぜます。かきまぜ終わったら、また プレーシートを、かけて ねかせます。



白いカビの生える日数の目安
夏場... 3~5日間
冬場... 5~7日間

④ 白いカビが、なくなるまで③を繰り返して下さい。白いカビが、なくなったら、分解終了です。いろんな野菜に、チャレンジしてみて下さい。

※ 白いカビが、まだ生えている段階で、作物を植えると、酸性障害が、おこるので、注意して下さい!!



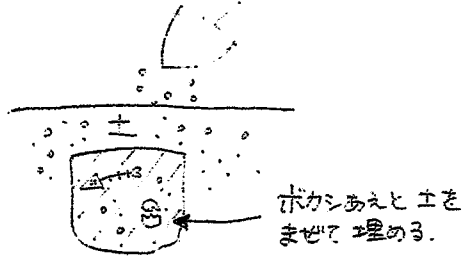
もし、失敗してしまったら...

～失敗例～

- ① 生ゴミが、腐ってドロドロになる。
- ② 腐敗臭がする。
- ③ 虫がわく。

～失敗した時の処理方法～

どの場合も、ボカシを多めに、入れて、あえ直して、土に返せば、土が悪くなるということはありません。しかし、どうしても、気になる場合は、土に深い穴を、掘って、生ゴミあえを、埋めて、上から、土をかぶせて下さい。



ご質問、ご意見がございましたら、
〒480-1214
瀬戸市 上品野町1354-12
TEL: 0561-41-4124
FAX: 0561-41-3766
麦の里まで

EMボカシの使い方

驚くほど野菜が大きく成長し、元気に!!
あなたも EM ボカシを使い始めてみませんか?



何も処理をしていない土。

生ゴミを EM ボカシで処理した土。ミニトマトが大きく育ちました!

※上記の写真はミニトマトで実験した結果です。